

# 将来のくらし【高城地区】を考える

※回収分(15人)

## ①地区の状況はどうか(■元気が・・・)

項目	理由
ある	・各自治公民館活動が活発で、子どもから老人まで参加され元気である。
	・中年世代に勢いがある。(みつぼし踊り、駅伝、婚活など)
	・団体活動は活発だが、まとまりがなく分散しているところもある。
ややない	・高齢化が進み、若い人が少ない。
	・空き家が散見される。
	・行事に参加する人が少なく、特定の人のみ参加している。
	・住人同士のあいさつや話が、自家用車で職場へ行ってしまおうのでなかなか出来ない。
	・近所に子どもが少ない。

## ②学校の現状について(■児童が・・・)

項目	理由
とても活発	・高城小には裏山があり、のびのびと勉強・遊びとメリハリがある。
活 発	・少ない人数なりに、元気に楽しくやっている。
	・しっかり大きな声であいさつをする。
	・登校時に高学年の児童が低学年をリードしている。
	・人見知り感がある。
ややおとなしい	・親の層がおとなしい。
	・児童数が少ない。
	・消極的なところや、人間関係の固定化が見られる。

## ③小学校適正配置について気がかりな点について

項目	理由
学力 人間関係 集団活動	・多人数の同級生になると対応出来ない。
	・人間関係が悪くなり、学力が低下するのではないか。
	・先生の目が行き届かなくなる。
	・教育面から、教師との関わりの深度が浅くなりはないか。
	・計画案だと久米中に通う生徒(高城・北谷・社の一部)だけが、中学に進学する際に、新しい出会いという経験がない。
	・多人数になれば、一人ひとりに対する細かな指導が難しく、学力の二極化が進むのではないか。
	・大きい学校では運動会など、我が子がわからないと聞く。今の高城はしっかり見ることが出来てありがたい。
	・多人数の学校に圧倒されて、ストレスや不登校が増えたりはしないか。

地域の衰退化	・地域と学校の関わりがなくなってしまう。
	・地域の中心となる施設がなくなることで、地域が成り立たなくなるのではないか。
	・学校がなくなると行政の置き去りになる。
	・子どもがいないと、地域は確実に廃れる。
計画のスピード	・適正配置というより吸収合併のイメージがあり、計画ありきのイメージが先行している。
	・統合を急ぐべきではない。
財政面 その他	・学校跡地の財政的な面が気になり。
	・10年後にまた同じ問題が起きる。

#### ④解決する手がかりについて

・統合ありきでなく、何が課題なのかを明確にする。
・適正配置と地域の活性化は、両論で話し合う。
・効率化だけでなく、教師を増やしてでも充実させてほしい。子どもの健全な成長、教育の向上が大事である。
・地域の触れ合い行事に大勢の方が参加するような創意工夫が必要。
・地域住民との触れ合いの場を多くする。(祭りやイベントなど)
・久米中だけ小中一貫的な視点がほしい。
・統合し、跡地を積極的に利用する。
・クラス編成を考慮する。
・優先順位を明確にして進める。

#### ⑤小学校適正配置協議会で話し合うべき内容

・バス通学となった場合のこと。
・子どもの精神的な不安を無くし、流れから外れる子ども達を適切に対応する。
・学校と保護者との繋がりが薄くならないようにする。
・放課後の子ども達の過ごし方(児童館などの充実)
・教育面、地域の活性化を区分し、問題点を整理する。そして、すぐ出来る対策・難しい対策・将来検討すべき対策等を行動表に落とし込む。また、小学校がなくなる地域の振興策を明確にすべき。(行政がまず示すこと)
・もう一度、原点に戻って討議すべきではないか。

# 将来のくらし【高城地区】を考える

く

①地区の現状はどうか

■元気が

(とてもある・ある・ややない・ない)

理由：

ら

②学校の現状について

■児童が

(とても活発・活発・ややおとなしい・  
おとなしい)

理由：

し

③小学校適正配置について気がかりな点について

(学力・人間関係・集団活動・地域の衰退化・計画のスピード・財政面・その他)

理由：

よ

④解決する手がかりに  
ついて

(①～③の課題・問題点を  
解決する方法など)

し

⑤小学校適正配置協議会で  
話し合うべき内容



## 住みたい高城地区